

聖地ゴール

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社 2015

読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120 (販売)
事業局 028-625-1134 (事業教育)
営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも
下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは
ダイヤル 0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯で、スマホで栃木のニュースを!!

下野新聞 SOON
月額 250円+税

下野新聞 検索

江戸く東照宮 日光社参ウオーク

江戸時代に日光東照宮を参詣した徳川歴代将軍の足跡をたどる「日光社参ウオーク」の参加者のうち、東京―日光間の全行程約150キロを連続7日間で完歩する「本隊」の一行75人が30日午前、目的地の東照宮にそろってゴールした。社参ウオークは、戦乱の世を終わらせ平和をもたらした徳川家康をたたえる東照宮400年式年大祭の記念イベント。県や下野新聞社などの実行委員会が主催している。本隊の参加者は24日、J R東京駅前の「行幸通り」を出発。江戸城と東照宮を結んだ日光御成道と日光道中(日光街道)を1日18キロ、30日は午前8時からニコニコ本陣で出発式が行われ、実行委副会長を務める小栗正光日本ウオーキング協会名誉会長が「最後をしっかりと締めくくって歴史に残る社参にしましょう」とエールを送った。



木漏れ日が差す日光杉並木街道を歩く社参ウオークの参加者 = 30日午前、日光市今市

75人、7日間150キロ踏破

同8時半にスタートした参加者は、日光杉並木街道や大谷川河川敷、世界遺産二社一寺の門前町の風景を楽しみながら10キロ先のゴールを目指した。同11時ごろ、関係者や観光客らの拍手に出迎えられ、次々と東照宮の石鳥居をくぐった。

写真館」よりご覧ください。下のQRコードからもアクセスできます。



道中の写真、HPに

下野新聞の公式ホームページ「SOON」では、道中出会った史跡や風景、おもてなしの数々を写真で紹介しています。「日光社参ウオーク特設応援ページ」内「WEB